

3 いざき義治の 3つの方針

「住んで良かった」を、もっと、もっと!

住み続ける価値の 高いまち

今以上に住みよい環境づくりをもっともっと進めていきます。安心安全で健やかに住み続けられる流山市を、健全財政のもとつくりあげます。

「市民の知恵と力」を、もっと、もっと!

市民の知恵と力が 活きるまち

自治基本条例や市民参加条例、街づくり条例、オープンデータの活用をさらに推進し、市民の知恵と力をどんどん活かしていきます。

「市民でよかった」を、もっと、もっと!

市民に役に立つ市役所

社会状況や生活環境に合わせて変化する市民のニーズや課題をしっかり把握し、迅速かつ的確に対応できる市役所の体制をつくります。



流山市長 いざき義治プロフィール

1954年 東京生まれ。立正大学地理学科学卒、カリフォルニア州立サンフランシスコ校大学院人間環境研究科修士課程修了。シンクタンクを経て、2003年から流山市長。著書に「ニッポンが流山になる日」「これから発展する街、衰退する街」「快適都市の創造」

その他、流山市での取り組みについては、齊藤義明(著)『日本の革新者たち』、淡路富男(著)『こうして流山市は人口実現している』など多数の本で紹介されています。

流山市は、まだまだ進化中!!

人口は順調に増加中

人口 **19万人**を突破
※2007年約15万人から
人口増加数 **4,389人** (2017)
人口増加率 5年連続 **県内1位** (2018)
交流人口の増加 **40万人**
※2011年約23万人から

待機児童対策も加速中

認可保育園の定員数 **6,153人** (2018)
8年間で **3.4倍**
※2010年は4月 1,789人

全国的にも注目されています

住みよさランキング2018
千葉県内**3位** 全国**14位**
※2007年は全国363位
※東洋経済新報社「都市データバック」より
転入超過数
2年連続 全国**8位**
政令都市を除き**1位**
※2016年、2017年/市町村で比較
※東洋経済新報社「都市データバック」より

住んでよかった?市民の声

愛着を感じている (1997→2018)
63.9% → 79.9%
住みやすいと感じている (1997→2018)
57.6% → 91.6%
住み続けたいと思っている (1997→2018)
72.4% → 78.4%
住み心地が良いと思う (2005→2017)
67.7% → 81.1%
市に意見を言う機会に満足 (2004→2017)
58.7% → 75.3%
住民の声が市政に反映されている (2004→2017)
49.6% → 72.4%
※「市民意識調査」、「まちづくり達成度アンケート」より

ボランティア募集

いざき義治サポーターの会では、スタッフを募集しています。ぜひ一緒に、よりよい流山市を目指して働いてみませんか。

いざき義治選挙事務所

〒270-0137
流山市市野谷427
TEL : 070-4403-1865
E-Mail : info@izaki-yoshiharu.com
Facebook : fb.me/yoshiharu.izaki
Twitter : @IZAKIYOSHIHARU

公式HP



Facebook



「住んでよかった」を もっと、もっと。



**ビジョンが
あります!**
いざき義治

1 質の高い快適な都市環境を、めざす、やりぬく。

公共交通の充実を進めます。

TX8両化の早期実現、東京駅延伸の具体化、成田や羽田への空港バスの誘致、市内バス交通の充実を図ります。



まちなか森づくりプロジェクトで、おおたかの森小の児童と植樹

森を守り、緑と公園を増やします。

市街地に隣接する自然林を保存するため、大規模緑地・公園を整備します。県立市野谷の森公園の整備促進と、まちなか森づくりプロジェクトやグリーンチェーン認定制度を推進し、街の環境価値を高めます。

江戸川台東口、南流山駅周辺の街づくりを見直します。

江戸川台東口駅前広場・商店街の再整備と南流山駅の利用者増にふさわしい駅周辺の街づくりのため、必要な都市計画を見直します。

2 質の高い子育て・教育環境を、めざす、やりぬく。

子育てにやさしい環境づくりを進めます。

おおたかの森地区と南流山地区に乳幼児一時預かりサービス、児童センターを含む「子育てなんでも相談室(子育て包括支援センター)」を新設し、子育ての悩みや不安に応えられる体制を作ります。また、出産後の母子ケアや育児サポートを行う「産後ケア」の拡充や産後ケア宿泊型施設を増やします。

待機児童ゼロを実現します。

認可保育園定員(H30現在、5658人)を、今後4年間で5割増、約3000人分の整備を行い、働きながら子育てのできる「待機児童ゼロ」の子育て環境を実現します。

学童保育所を増やします。

学童保育所の新増設を進め、平成31年度夏休みまでに、小学校6年生まで入所できる環境を整備します。



子どものイベントで読み聞かせ

学ぶ子に応える教育環境の充実を進めます。

小中学校の新増設・教室の増築、トイレの様式化、サポート教員・ALT(英語活動指導員)・図書館司書などの増員、新たに全小中学校に理科実験支援員、補習・発展学習アドバイザーを配置し、質の高い教育環境を推進します。



八木南小で花いっぱい活動の準備

3 質の高い安心安全な生活環境を、めざす、やりぬく。

キレイな水を便利に使える街をつくります。

高度浄水となった流山市の水道普及率を平成33年度末に100%、下水道整備地域の普及率を平成36年度末に100%にします。

災害時でも安心なライフラインを整備します。

平成29年度に終了した上水道施設の耐震化に続き、水道管の耐震化を進めます。また、市内全小学校に臨時給水所の設置と、全小中学校に備蓄倉庫を設置します。

めざす、やりぬく。

7 いざき義治 7つの基本政策



4 安心の高齢社会を、めざす、やりぬく。

高齢者の健康を連携して守る体制をつくります。

介護老人保健施設、及びケアマネジャーの連携強化の推進により、一人でも多くの要介護の方に在宅復帰して頂けるよう、また在宅介護の質の向上を図ります。また、流山市医師会、歯科医師会、薬剤師会の協力をえて、医療と介護の連携を推進します。



特別養護老人ホームにて盆踊りに参加

すべての高齢者が安心できる環境を整備します。

特別養護老人ホームの計画的な整備により、実質待機者をゼロに近づけます。公共交通や外出支援サービス、福祉有償運送の維持・拡充などによって、どなたでも安心して移動できるしくみを整備・拡充します。

「高齢者住み替え支援制度」を推進します。

より多くの高齢者が、健康状況やライフスタイルに合わせた住宅に転居し、生活も経済的にも自立した生活ができるよう支援します。

5 安心の福祉・共生社会を、めざす、やりぬく。

千葉県立特別支援学校柏学園の流山市内への高等部の誘致を働きかけます。障害児通所支援の拡充により、児童の可能性を引出す環境づくりを進めます。また、つばさ学園の相談体制の拡充や定員の増員を図り、相談・診察・指導訓練・早期治療体制を強化します。

6 地域経済の発展を、めざす、やりぬく。

「子どものそばで働ける街づくり」を進めます。

市民主導によるテレワーク・サテライトオフィス事業を支援すると同時に、企業内保育所の誘致を推進し、「こどものそばで働ける街づくり」を進めます。

交流と消費で活発な街をつくります。

企業誘致、農工商連携、ツーリズム促進、創業支援により、地域経済の活性化を推進します。また、民間のアイデアと資金活用により総合運動公園をより楽しい空間に変えます。

7 市民の知恵と力が活きる街を、めざす、やりぬく。

市民の知恵と力が活きるしくみを推進します。

市民の企画の実現にむけて積極的に支援します。また、市民活動支援センターを全世代型の情報発信・交流拠点として再整備。市民活動団体用の会議室やシェアオフィスを設け、活動を応援します。

市民の声を聞き、もっとすばやく動く役所を作ります。

市民からの要望・苦情の受信確認を3日以内、回答を2週間以内に短縮。SNSによる送受信のしくみの整備、全国一の情報公開の維持、オープンデータの継続的取り組みを続けます。



タウンミーティング

こちらはマニフェストのダイジェスト版です。
より詳しい政策については、いざき義治HPへどうぞ。

いざき義治

検索

